

サポートセンターからのお知らせ

■ 田辺市・橋本市での出張相談について （要予約・無料）

遠隔地等のため和歌山県 NPO サポートセンターまでお越しいただくのが困難なみなさまのために、以下の 2 カ所ですべて毎月 2 回ずつ出張相談を承っております。事前にご予約下さい。なお、1 件あたりの相談時間は 1 時間以内とさせていただきます。

田辺市市民活動センター

- 相談日：原則毎月第 2・4 金曜日の 10 時半～ 17 時
- 場 所：田辺市民総合センター 2F
- 相談予約電話番号：0739-26-9833（FAX 同番号）
- 対 象：田辺市を中心に紀南で活動中または活動しようとする団体

橋本市市民活動サポートセンター

- 相談日：原則毎月第 2・4 水曜日の 10 時～ 16 時
- 場 所：橋本市保健福祉センター 2F
- 相談予約電話番号：0736-33-0088 FAX 0736-33-0095
- 対 象：原則として橋本市内に拠点を置き活動中、または活動しようとする団体

■ NPO 出張相談・出張講座について

県内の NPO・ボランティア団体、行政機関・社会福祉協議会、企業等を対象とした NPO 出張相談・出張講座を承っています。概ね 5 名以上のグループが対象となります。ご利用は無料ですが、会場の賃借料等がかかる場合はご負担をお願いします。

- 想定される主なテーマ 「NPO とはなに？」「NPO 法人制度とは」「NPO 法人の役員の役割」「NPO 法人と事業報告」「NPO と行政・企業との協働」など NPO にまつわる基礎的な内容。お気軽にお問い合わせ下さい。

■ NPO 法・組合等登記令改正にともなう対応について

2018 年 10 月 1 日（予定）の改正組合等登記令・NPO 法施行に伴って始まる、NPO 法人の「貸借対照表の公告」への対応のご準備をお願いします。詳しくは和歌山県発行の「特定非営利活動法人の設立及び管理・運営の手引き」（2017 年 4 月改正対応版）もしくは和歌山県 NPO サポートセンターからお届けしたご案内リーフレットをご覧ください。

上記「手引き」や「ご案内リーフレット」については、和歌山県 NPO ホームページ「わかやま NPO 広場」からも PDF 版のダウンロードが可能です。

なお、2018 年 9 月末（予定）までは引き続き「資産の総額変更登記」が必要です。今年 4 月から、資産の総額変更登記の期限は「事業年度終了後から 3 か月以内」に延長されています。

サポートセンター主催事業のご案内

●ゆるりと交流会

肩ひじ張らずに、のんびり、ゆったりと、交流をお楽しみいただける場をご用意します。新たな事業のヒント探し、他団体との連携等のきっかけにいかがですか。時間内入退室自由。

第 6 回 11 月 11 日（土）14:00 ～ 16:00

「身近なボランティア活動を考える」

第 7 回 12 月 10 日（土）14:00 ～ 16:00

「ネコ駅長たま～産官学民協働の舞台裏」

場所：和歌山県 NPO サポートセンターサークル活動室

参加費：無料 定員：5 ～ 10 名

来年 3 月まで、原則として毎月第 2 土曜日に開催予定。

●助成金・融資事業紹介あり！NPO のための資金調達講座

NPO 法人やボランティア団体が新しい事業に取り組む

際に必要な財源のひとつ「助成金」と「補助金」。最近では「融資」を活用する NPO も増えてきました。

NPO・ボランティア団体の収入の種類をおさらいしつつ、助成金・補助金、融資の特性をご紹介します。また、助成金つきの顕彰事業、事業型 NPO 向けの融資事業のご紹介も！

【日 時】 11 月 29 日（水）18:30 ～ 20:30

【場 所】 和歌山ビッグ愛 9 階会議室 B

【参加費】 無 料

【定 員】 30 名

【協 力】 近畿労働金庫・日本政策金融公庫和歌山支店
お申込み・お問い合わせは和歌山県 NPO サポートセンターまで。

NPO に関するご相談は

和歌山県 NPO サポートセンター（県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 9F）
TEL：073-435-5424 FAX：073-435-5425
メール：info@wakayama-npo.jp URL：http://www.wakayama-npo.jp/
受付時間：火曜日～土曜日 9:00 ～ 20:50（21:00 閉館）
日曜日 9:00 ～ 17:30
休館日：月曜日・祝祭日・年末年始（12/29 ～ 1/3）
【指定管理者：特定非営利活動法人わかやま NPO センター】

和歌山県環境生活部 県民局 県民生活課 県民活動団体室（和歌山県庁本館 2F）
TEL：073-441-2053 FAX：073-433-1771
メール：e0313002@pref.wakayama.lg.jp
URL：http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031300/npo/

【本紙は古紙再生率 70%以上の再生紙を使用しております】

和歌山県 NPO・ボランティア情報紙 わか愛愛

wakayama ai ai

隔 月 発 行

2017
November
vol.87

TAKE FREE

和

になろう

県内で市民活動を行う
団体や人を紹介します

No.33 NPO わかやま子育てサークル本部サンマザー

ひろがれ！ママたちの輪から地域の輪へ

出産を機に、社会とのかかわりが薄くなりがちな子育て中の女性たち。同じような境遇の人たちがあつまり、子育ての悩みについて話し合う場として数々の子育てサークルが発足しています。そして女性の社会参加の機運が高まっている今、子育てのことにとどまらず女性たちが社会と積極的に関わる活動に取り組むサークルも増えてきました。

和歌山市内の様々な子育てサークルのネットワークづくりを行う「NPO わかやま子育てサークル本部サンマザー」では、「あつまれ！ちびっこうんどうかい」などの運営を通して、子育て中の女性たちと地域との関わりを大切にしています。

すべてママの手作り！

和歌山県立体育館で毎年秋に行われる「あつまれ！ちびっこうんどうかい！」。0 才～ 3 才の未就園児が集まり、かけっこやダンス、玉入れなど、参加者みんなで楽しく体を動かします。昨年は約 600 名の子どもと大人たちが参加しました。

たくさんの人たちが集まるこのイベント、すべてママたちの手作りなんです。うんどうかいは今年で 15 回目ですが、回を重ねるごとにママと子どものためだけではなく、地域の方々も楽しめるイベントに進化しています。サンマザーが発足したきっかけのひとつは、このうんどうかいの企画からだそうです。

当初、サークルの女性たちが「和歌山市地域子育て支援拠点施設」の先生方と一緒に開催していたうんどうかいは、



サークル同士が互いの活動が広がるようにと、数組のサークルに声がかかったのが始まり。そして 10 回目の開催からサ



ンマザーが主となって運営を行うようになり、和歌山市内のさまざまな子育てサークルがつながっていきました。

様々な主体との協働を大切に

うんどうかいは毎年、プログラムの内容から会場設営までママたちの得意分野、趣味や特技（英語やダンス、お絵描きなど）を活かし、一から考えて作り上げています。今年は初めてテーマを決め、「動物」をテーマとし、動物をモチーフにした飾りつけなどママたちの創意工夫が発揮されています。

現在は 15 の子育てサークルが参加していますが、ママたちだけの運営となると子どもに目が行き届かないため、地元の婦人会や民生委員、和歌山市内の地域子育て支援拠点施設である保育園と連携をしながら、子どもの安全をサポートしています。地域企業からは過去に景品の提供などの協力もありました。さまざまな立場の人々が協働でつくり上げるイベントとなっているのです。

今後はパパやおじいちゃんおばあちゃん、これからママ・パパになる人も一緒になって運営できたらいいとのこと。子育ての悩みを共有するサークル活動から地域とつながる活動へ、うんどうかいを通してつながりの輪が広がっています。

NPO わかやま子育てサークル本部サンマザー

URL http://sun-mother.com/

INDEX

表紙：特集「和になろう」NPO わかやま子育てサークル本部サンマザー
p.1：和歌山の課題解決は「健康づくり」から？！

p.2：新規設立 NPO 法人紹介、助成金・イベント情報、お知らせ
p.3：サポートセンターからのお知らせ・ご案内

特集 健康づくりは身近なところから！

年々高齢化が進行する和歌山県。和歌山県が今年 3 月に策定した「長期総合計画（2017 ～ 26 年度）」でも「80 歳現役社会」として、概ね 80 歳まで仕事や地域活動、NPO・ボランティア活動などを通じて元気に暮らすことができる社会づくりを目指すことがうたわれており、NPO やボランティア団体への期待も高まっています。しかし、それも健康あつてのこと。さて、県内の健康状態は…?!

介護も健康も日常生活も…

和歌山県内の健康に関する統計を一部抜粋してみますと・・・

◆ 65 歳以上人口に占める介護保険要支援・要介護認定率

22.1% 全国ワースト 11 位
(平成 26 年度介護保険事業状況報告)

◆ メタボリックシンドローム該当者

15.54% 全国ワースト 11 位
(平成 26 年度特定健診データ)

◆ 75 歳未満のがんによる死亡率（全部位）

80.03 人（人口 10 万人あたり） 全国ワースト 11 位
(平成 27 年度人口動態統計)

◆ 1 日あたりの歩行数

男性 6,743 歩 全国ワースト 3 位
女性 6,062 歩 全国ワースト 9 位
(平成 28 年度国民健康・栄養調査)

◆ 1 日あたりの野菜摂取量

男性 280g 全国ワースト 22 位
女性 232g 全国ワースト 2 位
(平成 28 年度国民健康・栄養調査)

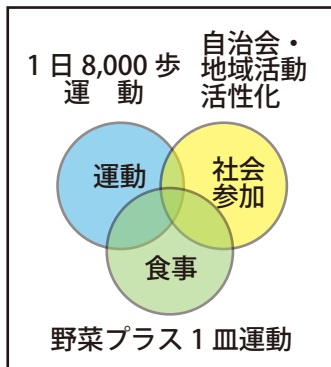
このように和歌山県内の健康に関する指標は決してよくはありません。地域での健康づくりを一層進めることが求められています。

健康寿命を伸ばす「運動」

県内では、健康づくりや介護予防などに取り組む団体が少なくありません。なかでも介護予防につながる「わかやまシニアエクササイズ」をおこなうグループは自治会や NPO・ボランティア団体など含め、県内で 300 以上あり、1 万人が汗を流していると推定されています。できるだけ長く健康で過ごせる「健康寿命」を伸ばすことは、ご自身の健康づくりに役立つだけでなく、地域の医療や介護にかかる費用の削減にもつながると期待されています。

また、がんや心疾患、糖尿病などの予防には 1 日 8,000 歩の歩行が有効的であるという研究があ

り、①適度な運動をおこない、②地域活動に積極的に参加し、③食事の際に野菜をもう 1 品プラスすること、の 3 つの柱で「健康長寿日本一」をめざす取組が和歌山県的主导で進められています。



和歌山県の取組を活用する手も！

和歌山県では 10 月から「健康づくり運動ポイント事業」を開始しました。1 日 8,000 歩以上のウォーキングや 1 日 30 分以上の運動、自治会活動への参加などでポイントを得ることができます。ポイント上位の方には表彰と記念品が贈呈されます。グループでの登録も可能で、グループ内で楽しく運動状況を競うことができます。

これらを上手に活用して、健康増進と地域活動の活性化に役立ててみてはいかがでしょうか。

【こんな活用も！…想定例】

★ 地域のみなさんでラジオ体操！

ラジオ体操はとてもいい運動になります。みなさんの健康状態の把握もできますね。

★ 美化活動や安否確認などにも！

地域の清掃だけではなく、独居の方の安否確認を手分けしておこなうと地域の安心・安全にもつながります。

★ NPO やボランティアと地域活動の接点に

NPO やボランティア団体から自治会等に対して、健康ポイント活動につながる事業の提案をおこなって、みんなで取り組むことで相互の接点づくりにつながります。

※ ポイントランキングに挑戦できるのは個人・自治会のみ。グループ参加の場合はグループ内のランキング確認のみとなります。

※詳細はわかやま健康ポイント公式サイト（<http://kenkou-wakayama.jp>）もしくは右のバーコード）または、県庁健康推進課（073-441-2656）まで。



新規設立 NPO 法人 前号以降に新たに設立された NPO 法人をご紹介します

◎わかやまストレッチ協会（和歌山市）

2017 年 9 月 29 日設立 代表者 和坂 貴礼

地域住民の人に対して各種健康指導者育成事業においてセルフストレッチ講座やストレッチインストラクターの養成講座、運動教室など健康増進事業を展開していきます。またイベントの開催など住民が気軽に参加できる事業を考えています。協会の特徴は地域住民自ら行えるストレッチや体操の啓発です。

電話番号 073-478-0228

電子メール taka.w-195@peach.ocn.ne.jp

助成金 & 支援情報

ニッセイ財団 2018 年度児童・少年の健全育成助成

【対象事業】子ども達が行う自然体験・生活体験活動、仲間づくりや文化伝承活動、地域の子育て支援活動

【対象団体】設立後 1 年以上、常時 10 名以上の構成員がおり、半数以上が 18 歳未満である、などの条件を満たす団体

【対象となる活動】(1) 自然と親しむ活動、(2) 異年齢・異世代交流活動、(3) 子育て支援活動、(4) 療育支援活動、(5) フリースクール活動

【助成額】1 団体あたり 30 ～ 60 万円

【締 切】11 月末までに、各都道府県の青少年担当課へ申請。和歌山県の場合は青少年・男女共同参画課。

【主 催】公益財団法人日本生命財団（http://www.nihonseim-ei-zaidan.or.jp/jidou/01_syushi.html）

2018 年度環境市民活動助成

【対象団体】NPO 法人、一般社団法人、任意団体（助成分野によって対象が異なりますので十分ご確認ください）

【助成分野】(1) 活動助成（環境活動に助成）、(2) NPO 基盤強化助成（環境 NPO の組織基盤強化）、(3) 緑化植花助成、(4) 清掃助成

【助成額】1 団体あたり 20 ～ 400 万円（助成分野・組織形態により異なります）

【締 切】11 月 30 日（木）消印有効

【主催・問い合わせ】一般財団法人セブンイレブン記念財団（<http://www.7midori.org/>）

和歌山線アワード

【対象団体・事業】JR 和歌山線の活性化に取り組んでいる沿線の個人や団体。昨年 12 月から今年 11 月までの間に取り組まれた (1) 駅や沿線の環境保全やマナーアップ、利用環境の向上、(2) 駅の拠点機能強化、情報発信、(3) 鉄道の利用促進、イメージアップ、(4) その他和歌山線の活性化に資する事業、を顕彰します。

【顕彰内容】(1) 最優秀賞 (1 点)：賞状と副賞 (商品券 1 万円分)、(2) 優秀賞 (数点)：賞状と副賞 (商品券 5,000 円分)

【締 切】11 月 30 日（木）必着

【主催・問い合わせ】和歌山線活性化検討委員会（<http://wakayamasen.com/>）もしくは橋本市総務課 公共交通・安全係（0736-33-7117）、かつらぎ町企画公室まちづくり推進係（0736-22-0300）まで

◎SPICE GIRL（田辺市）

2017 年 8 月 28 日設立 代表者 谷口 弘

◎持続可能な水産養殖のための種苗認証協議会（白浜町）

2017 年 9 月 21 日設立 代表者 升間 主計

◎ヴィダ・リブレ（美浜町）

2017 年 10 月 3 日設立 代表者 宮西 照夫

※ このコーナーでは前号発行後に新たに和歌山県で認証・設立された NPO 法人の情報をご案内しております。

近畿ろうきん NPO アワード

【対象団体】近畿 2 府 4 県で子育て支援活動を進める NPO 法人やボランティア団体

【助成分野・助成額】(1) はばたきコース：団体規模に係わりなく新規プログラムを募集。大賞 50 万円 1 団体、優秀賞 30 万円 2 団体、奨励賞 20 万円 5 団体。(2) はぐくみコース：地域で頑張っている予算規模 200 万円以下小規模団体が対象で、はぐくみ賞 10 万円 4 団体。

【募集期間】12 月 1 日（木）～ 2018 年 1 月 31 日（水）必着

【主催・問い合わせ】近畿ろうきん地域共生推進室（TEL 06-6449-0842 FAX 06-6449-1303）

【備考】ウェブサイトもご覧ください（http://www.rokin.or.jp/npo/npo_award/）

イベント情報

きのくに県民カレッジ認定証授与式・講演会

和歌山県教育委員会が主催し、県内の様々な機関・NPO 等が連携して運営している生涯学習活動「きのくに県民カレッジ」の認定証授与式と記念講演会です。

【日 時】11 月 25 日（土）13:00 ～ 15:00

【場 所】和歌山県立図書館 2 階メディア・アート・ホール

【内 容】(1) 認定証授与式、(2) 記念講演会「心と体の健康を求めて～東洋の叢智に学ぶ健康法～」(講師・白石 豊さん：朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科)

【入場料】無料

【問い合わせ】和歌山県立図書館文化情報センター（073-436-9530）

【イベント情報募集！】

県内の NPO・ボランティア団体等が開催するイベント情報を和歌山県 NPO サポートセンターにお寄せください。情報ブログ・メールマガジン等で発信いたします。

【メールマガジンは毎月 2 回配信中！】

和歌山県 NPO サポートセンターに届くイベント・助成金情報をとりまとめお届け！毎月 1 日・15 日頃に配信しています。配信をご希望の方は、配信先のメールアドレスを和歌山県 NPO サポートセンター（info@wakayama-npo.jp）にお知らせ下さい。携帯電話・スマートフォンへの配信の場合は、配信元アドレス（npo_tsuremote_mail@googlegroups.com）の受信許可の手続きをお忘れなくお願いします。